

早期景気観測調査

【6-7月期 調査結果概要報告書】

平成30年8月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成30年7月17日(火)～31日(火)
4. 調査対象： 当所会員137事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 92件
7. 有効回答率： 67.2%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【6-7月期の動き】

**全体業況は5期ぶりに改善。
全項目で改善も人手不足感は増加。
向こう3カ月の業況は、改善の見通し。**

6-7月期の全業種総合の業況DIは、▲18.5（前期比+8.5ポイント）と5期ぶりの改善となった。仕入単価DIが改善に転じ、売上DI、金融貸出しDIについても3期ぶりに改善に転じている。また、採算DIは2期連続で改善、従業員DIも3期連続でポイントは改善しているが、人手不足感は増していることに注意が必要。特に、従業員DIは過去最高（平成13年度以降）の値となっている。

向こう3か月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、卸売業、建設業、サービス業で改善し、製造業、小売業で悪化した。

製造業の業況DIは▲11.1（前期比▲2.4ポイント）と3期連続の悪化となった。売上DIが改善に転じ、採算DIが3期ぶりの改善に転じた。一方で、仕入単価DIは3期ぶりに悪化に転じ、金融貸出しDIも3期連続の悪化となっている。従業員DIについても2期連続で悪化しているが、人手不足感は緩和している。

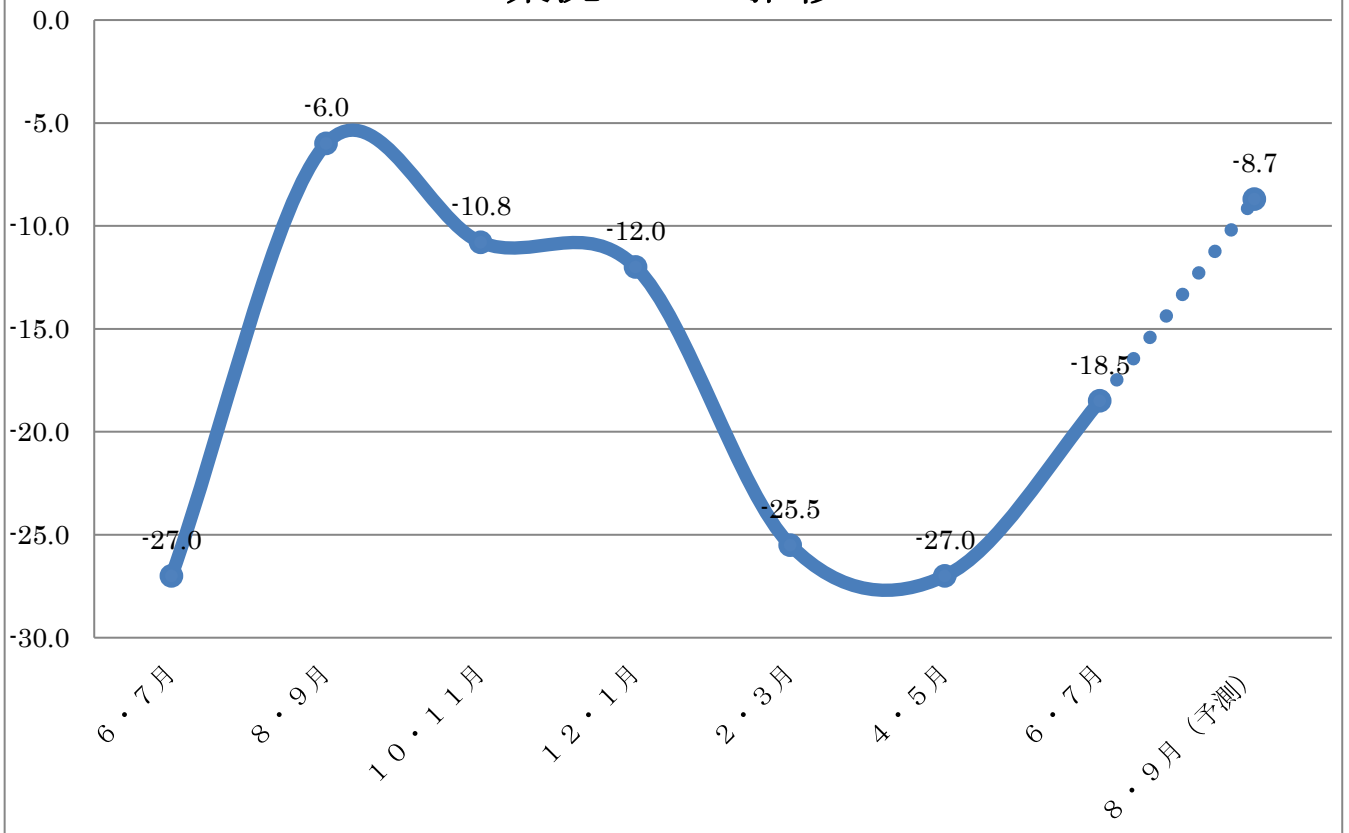
建設業の業況DIは▲26.7（前期比+4.9ポイント）と2期連続の改善となった。売上DIが悪化となり、採算DIも小幅な悪化に転じた。一方で、仕入単価DI、金融貸出しDIがいずれも改善に転じ、従業員DIについては3期連続でポイントは改善するも、人手不足感には拍車がかかっている。

卸売業の業況DIは▲11.1（前期比+20.5ポイント）と3期ぶりの改善となり、大幅なプラスとなった。売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDIのいずれも改善に転じており、とりわけ売上DIは47.4ポイントの大幅なプラスとなった。また、従業員DIの値は依然高止まりの状況。唯一、仕入単価DIのみ3期ぶりの悪化に転じている。

小売業の業況DIは、▲26.1（前期比▲2.3ポイント）と悪化に転じた。売上DIが3期連続で改善したが、採算DI、仕入単価DIともに3期ぶりの悪化となった。従業員DI、金融貸出しDIについては、いずれも2期連続で改善しているが、従業員の不足感は増している。

サービス業の業況DIは▲16.7（前期比+27.7ポイント）と2期連続で改善となり、大幅なプラスとなった。仕入単価DIが22.2ポイントの大幅な改善に転じ、売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDIは、いずれも2期連続の改善となっている。とりわけ、仕入単価DIは22.2ポイントの大幅なプラスとなっている。従業員DIについては、4期連続のポイント改善も人手不足感が高まる形となった。

業況D I の推移






◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について








D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲18.5	▲8.7	▲17.4	▲21.7	▲39.1	28.3	▲1.1

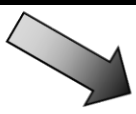
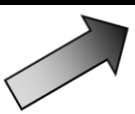
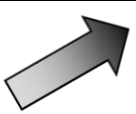
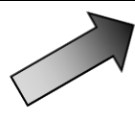
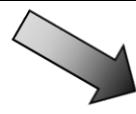
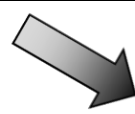
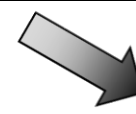
6-7月期の全業種総合の業況D I は、▲18.5（前期比+8.5ポイント）と5期ぶりの改善となった。

項目別では、全項目で改善となった。仕入単価D I（▲42.0→▲39.1）が改善に転じ、売上D I（▲29.0→▲17.4）、金融貸出しD I（▲3.0→▲1.1）についても3期ぶりに改善に転じている。また、採算D I（▲27.0→▲21.7）は2期連続で改善、従業員D I（25.0→28.3）も3期連続でポイントは改善しているが、人手不足感は増していることに注意が必要。特に、従業員D I は過去最高（平成13年度以降）の値となっている。

向こう3か月の先行き業況は、▲8.7と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

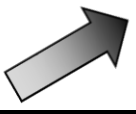
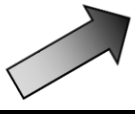
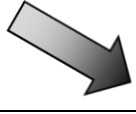
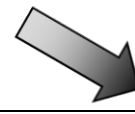
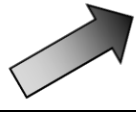
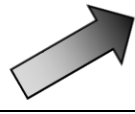
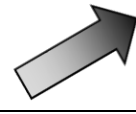
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.1	11.1	0.0	0.0	▲11.1	16.7	▲11.1

業況DIは▲11.1（前期比▲2.4ポイント）と3期連続の悪化となった。

項目別では、売上DI（▲4.3→0.0）が改善に転じ、採算DI（▲17.4→0.0）が3期ぶりの改善に転じた。一方で、仕入単価DI（▲8.7→▲11.1）は3期ぶりに悪化に転じ、金融貸出しDI（▲4.3→▲11.1）も3期連続の悪化となっている。従業員DI（21.7→16.7）についても2期連続で悪化しているが、人手不足感は緩和している。

向こう3か月の業況は、11.1と大幅に改善する見通し。

建設業

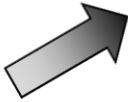


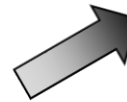

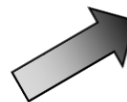
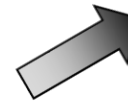
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲26.7	0.0	▲46.7	▲26.7	▲53.3	40.0	0.0

業況DIは▲26.7（前期比+4.9ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（▲31.6→▲46.7）が悪化となり、採算DI（▲26.3→▲26.7）も小幅な悪化に転じた。一方で、仕入単価DI（▲63.2→▲53.3）、金融貸出しDI（▲5.3→0.0）がいずれも改善に転じ、従業員DI（31.6→40.0）については3期連続でポイントは改善するも、人手不足感には拍車がかかっている。

向こう3か月の業況は、0.0と大幅に改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.1	▲27.8	0.0	▲27.8	▲50.0	38.9	11.1

業況DIは▲11.1（前期比+20.5ポイント）と3期ぶりの改善となり、大幅なプラスとなった。

項目別では、売上DI（▲47.4→0.0）、採算DI（▲36.8→▲27.8）、従業員DI（31.6→38.9）、金融貸出しDI（5.3→11.1）のいずれも改善に転じており、とりわけ売上DIは47.4ポイントの大幅なプラスとなった。また、従業員DIの値は依然高止まりの状況。の唯一、仕入単価DI（▲42.1→▲50.0）のみ3期ぶりの悪化に転じている。

向こう3か月の業況は、▲27.8と悪化する見通し。

小売業

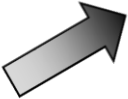
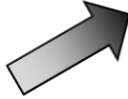
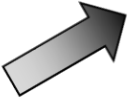




業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲26.1	▲17.4	▲26.1	▲26.1	▲34.8	21.7	▲4.3

業況DIは、▲26.1（前期比▲2.3ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上DI（▲28.6→▲26.1）が3期連続で改善したが、採算DI（▲19.0→▲26.1）、仕入単価DI（▲33.3→▲34.8）ともに3期ぶりの悪化となった。従業員DI（19.0→21.7）、金融貸出しDI（▲4.8→▲4.3）については、いずれも2期連続で改善しているが、従業員の不足感は増している。

向こう3か月の業況は、▲17.4と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲16.7	▲5.6	▲16.7	▲27.8	▲50.0	27.8	0.0

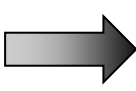

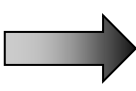

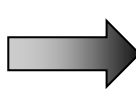
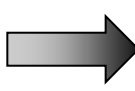
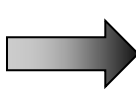
業況D Iは▲16.7（前期比+27.7ポイント）と2期連続で改善となり、大幅なプラスとなった。

項目別では、全項目で改善となった。仕入単価D I（▲72.2→▲50.0）が22.2ポイントの大幅な改善に転じ、売上D I（▲38.9→▲16.7）、採算D I（▲38.9→▲27.8）、従業員D I（22.2→27.8）、金融貸出しD I（▲5.6→0.0）は、いずれも2期連続の改善となっている。とりわけ、仕入単価D Iは22.2ポイントの大幅なプラスとなっている。従業員D I（22.2→27.8）については、4期連続のポイント改善も人手不足感が高まる形となった。







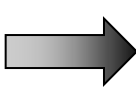
向こう3か月の業況は、▲5.6と改善する見通し。

◆ 業種別詳細








製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


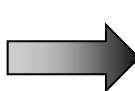





製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







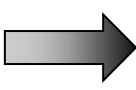
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

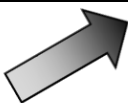
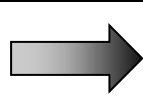

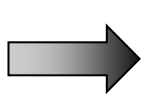


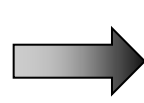
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


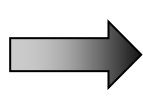



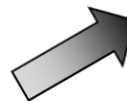

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



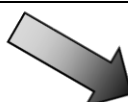
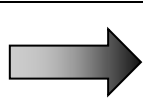
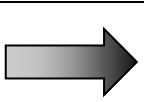
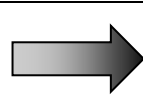
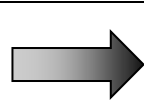
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

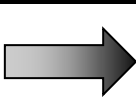






卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



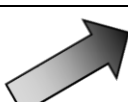
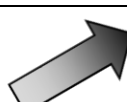


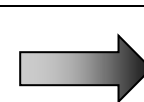
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




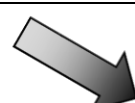
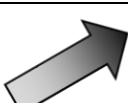
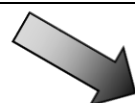

卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（工業製品）

- ・6月水晶業界統計実績は、生産数量、生産高とも前月比より微増。受注数量、売上高は微減となっております。弊社では北米向けの新規スマホ市場への受注増加が見込まれています。
- ・動きが見えませんが、大局からすると良→悪の流れのような感じです。

製造業（宝飾）

- ・国内卸、小売は低迷しており大変厳しい状況。8月 JJF から終盤の商戦に期待。

製造業（ニット・アパレル）

- ・デパートを売り先とした大手アパレル、展示会受注形式のアパレル等、自前の売り場を持たない卸売の業態の先行きに不安材料が多いと感じられる。

【建設業】

建設業（土木）

- ・公共事業の減少、県内の景気があまりよくないと住宅建物工事がハウスメーカーに偏り、職人不足がネックになっております。

建設業（鉄鋼）

- ・西日本豪雨により鉄鋼製品の納期が1か月伸びる。鉄鋼材料高値圏にあり。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・記録的な早期梅雨明けもあり、盛夏商戦が早期に稼働し6月の売上が高伸。ただし、その前倒しと酷暑により晩夏の客足に悪影響。個人消費に対して、自然災害やFIFAワールドカップはマイナス影響。

小売業（趣味・日用品）

- ・なにしろ中心への来街者の減少が問題です。甲府銀座ビルのマンションも完成し、入居者も入ってきているので期待はしています。こうふ開府500年も良い材料だとは思いますが…。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・7月の宿泊動向が良くない。
- ・梅雨が早く終わったかと思うと西日本の大雨、また甲府ほかの猛暑等で観光客はいつもの年より少なく、夏休みに入ってから7月8月は予約も多く入るようになりました。南アルプスの登山者も少なく感じます。穏やかな天候になることを期待しています。

サービス業（観光）

- ・梅雨明け後の猛暑が影響して個人観光客が少ないようです。
- ・夏の繁忙期に入りましたが、バス・タクシー乗務員、サービスエリアの販売員（パート）は、人員確保に苦戦しています。仕入では燃料の高止まりによるコスト増が続いています。

サービス業（飲食その他）

- ・6月はジュンブライドが良いが、夏の婚礼は少ないので7月は毎年減少する。
- ・甲府中心街に少しずつ新規出店が出始め、過去の賑わいに戻りつつあるように感じる。特に飲食店の経営者が頑張っている。

以上